

# 産学官 連携研究会

対面 &  
オンライン



産

## 建築鉄骨溶接部の検査は役に立ったの？ 今後は？

株式会社ジャスト 池ヶ谷 靖氏

1960年代から、現れ始めた建築鉄骨。当初は多くの不良鉄骨が見られた。まずは外観検査が行われ、次に溶接部の内部を非破壊で検査する手段として超音波探傷試験、その後、種々の検査が適用され、現在の高い品質の建築鉄骨溶接部を実現している。超音波探傷検査の黎明期から現在までの歴史と、今後への提案を、わかりやすく楽しく紹介する。

官

## 道路メンテナンスにおける計測・検査技術の動向

国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所 副所長 川村 英弘氏

2012年の中央道笹子トンネル天井板落下事故を契機に、道路老朽化対策が本格化し道路施設の定期点検が法定化された。しかし、予算的負荷に加え地方自治体の技術者不足などが問題となり、これらを解決すべく施設点検の効率化に視する計測・検査技術の導入が求められている。非破壊検査を含む計測・検査の新たな技術の確立・導入に向けた近年の国土交通省の取組みなどを紹介する。

学

## 自己修復コンクリート梁に対する非破壊試験による自己修復性能評価

東北学院大学大学院 教授 李 相勲氏

コンクリート構造物の性能低下や早期劣化の原因となるひび割れ。これを自動的に修復させることを目的にネットワーク（補修剤をひび割れに伝達するためにコンクリート内部に設置する中空路）及び補修剤を用いたコンクリート梁に対して、1)コンクリート梁の構造形態による修復性能への影響、2)繰り返し修復を行った際の強度回復率の変化、3)各種非破壊試験による修復性能評価の効率について行った検討結果を報告する。

日時

2023年2月17日(金)14:30～18:00

定員

30人 (先着)

参加費

1,500円 (軽食費込)  
※17:00より懇親会を予定

会場

戦災復興記念館 (仙台市青葉区)

お申込みの際は、以下をお知らせください。

- ①お名前
- ②所属先
- ③メールアドレス
- ④電話番号
- ⑤参加方法 (対面/オンライン)

お申込み・お問い合わせ先

(一社) 日本非破壊検査協会 東北支部

Tel.022-279-7862 | e-mail. info@jsndi-tohoku.jp

